



## 2025年10月期 通期決算補足説明資料

株式会社モルフォ（東証グロース：3653）

2025.12.12



Vision

**Rise above what we see, to realize what we feel**

**-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-**

# 目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年10月期 通期決算概要
3. 2025年10月期 トピックス
4. 2026年10月期 通期連結業績予想
5. Appendix

## 1. エグゼクティブサマリー

- 減資の実施を株主総会へ上程。繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務体質の健全化を図り効率的な経営を推進するとともに、将来の資本政策の機動性や柔軟性を確保
- DX領域におけるグループ再編を実施。本再編はグループ内に分散していたDX関連機能、人材、技術リソースを統合・集約を行い戦略的事業領域であるDX領域への深耕を加速
- 将来の競争優位性を確立する基幹技術への投資を行い開発を加速
  - ・カメラによる3D空間撮像技術の製品開発
  - ・VLM（Vision-Language Model）の研究開発

- 2025年10期は、売上高3,359百万円（前年同期比1.7%增收）、営業利益45百万円（前年同期比▲211百万円）と增收減益。売上高は、ロイヤリティ収入が前期比1.9%増と堅調に推移。一方、研究開発投資の積極化、子会社の業績悪化が反映し減益決算。修正予想に対しては、売上高及び各段階利益で上回り着地。
- 四半期単位での推移では、当第4四半期間は、売上高1,026百万円、営業利益136百万円となり、第2四半期からの3期連続の営業利益黒字化を継続。
- 2026年10期の業績見通しは、売上高3,500百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益100百万円（同2.2倍）を見込む。引き続き中国メーカーのスマートフォン向けが堅調に推移し、新たにスマートグラス向けが伸長予想。国内は自動車向けのAD/ADASを中心とした開発に加え、鉄道・航空・船舶向けの新規領域の開拓を進める。非連続成長のプロダクトアウト製品の研究開発を継続。

## 2. 2025年10月期 通期決算概要

## 連結PLサマリー



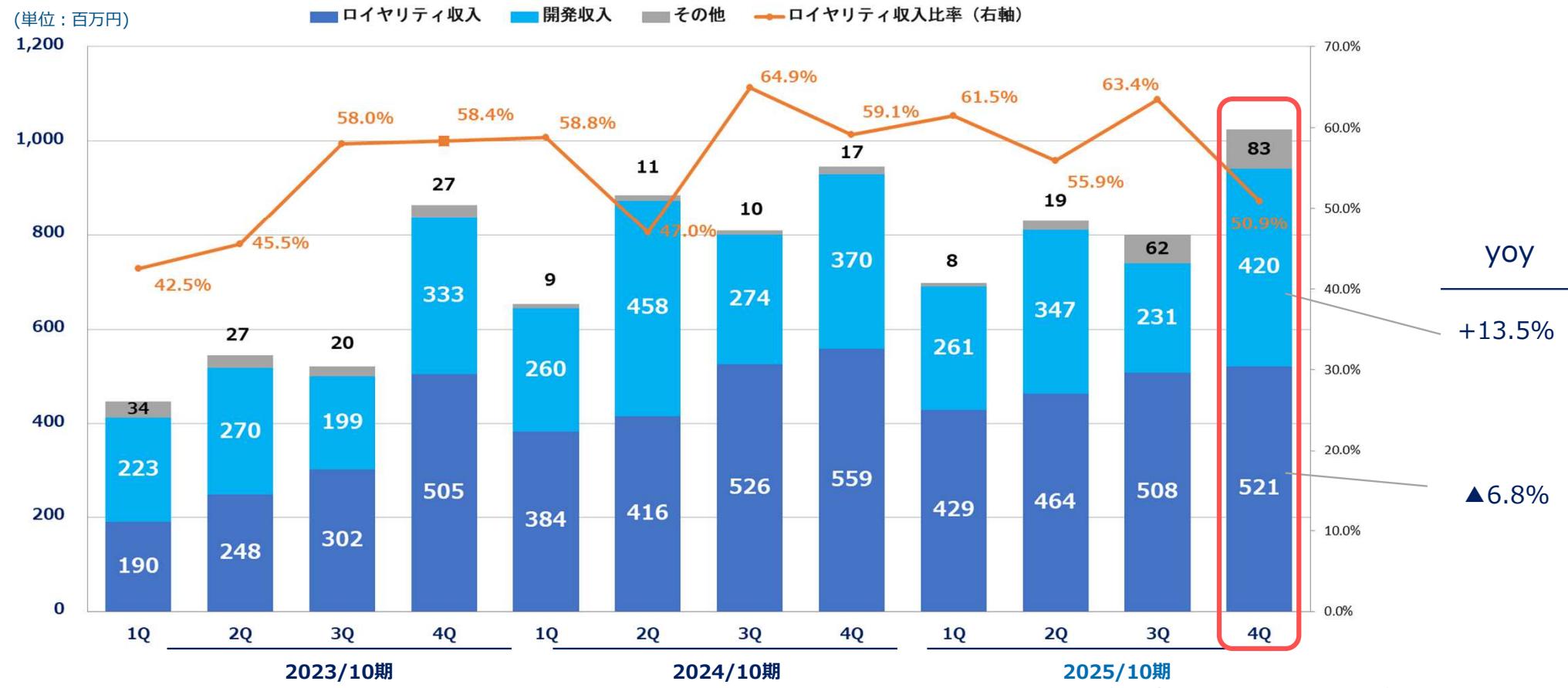
- 連結売上高 : ロイヤリティ収入が前期比+1.9%と堅調に推移し増益
- 連結営業利益 : 研究開発投資の積極化及び一部子会社の業績が想定を下回り減益
- 連結経常利益 : 為替差損を補助金収入、持分法投資損益で吸収

(単位：百万円)	2024/10期 通期連結業績	2025/10期 通期連結業績	増減
連結売上高	3,300	<b>3,359</b>	58
連結営業費用	3,043	<b>3,313</b>	270
連結営業利益	257	<b>45</b>	▲211
連結経常利益	298	<b>71</b>	▲226
親会社株主に帰属する 当期純利益	301	<b>▲77</b>	▲379

(単位：百万円)		2024/10期 期末	2025/10期 期末	増減	主な要因
資産	流動資産	3,689	3,249	▲439	現預金▲410
	固定資産	572	896	+ 323	無形固定資産+141 投資有価証券+161
資産合計		4,262	4,146	▲116	
負債	流動負債	608	467	▲141	未払金▲70
	固定負債	13	58	+45	
負債合計		621	526	▲95	
純資産合計		3,640	3,619	▲21	
負債・純資産合計		4,262	4,146	▲116	

## 売上収益構成 (四半期推移)

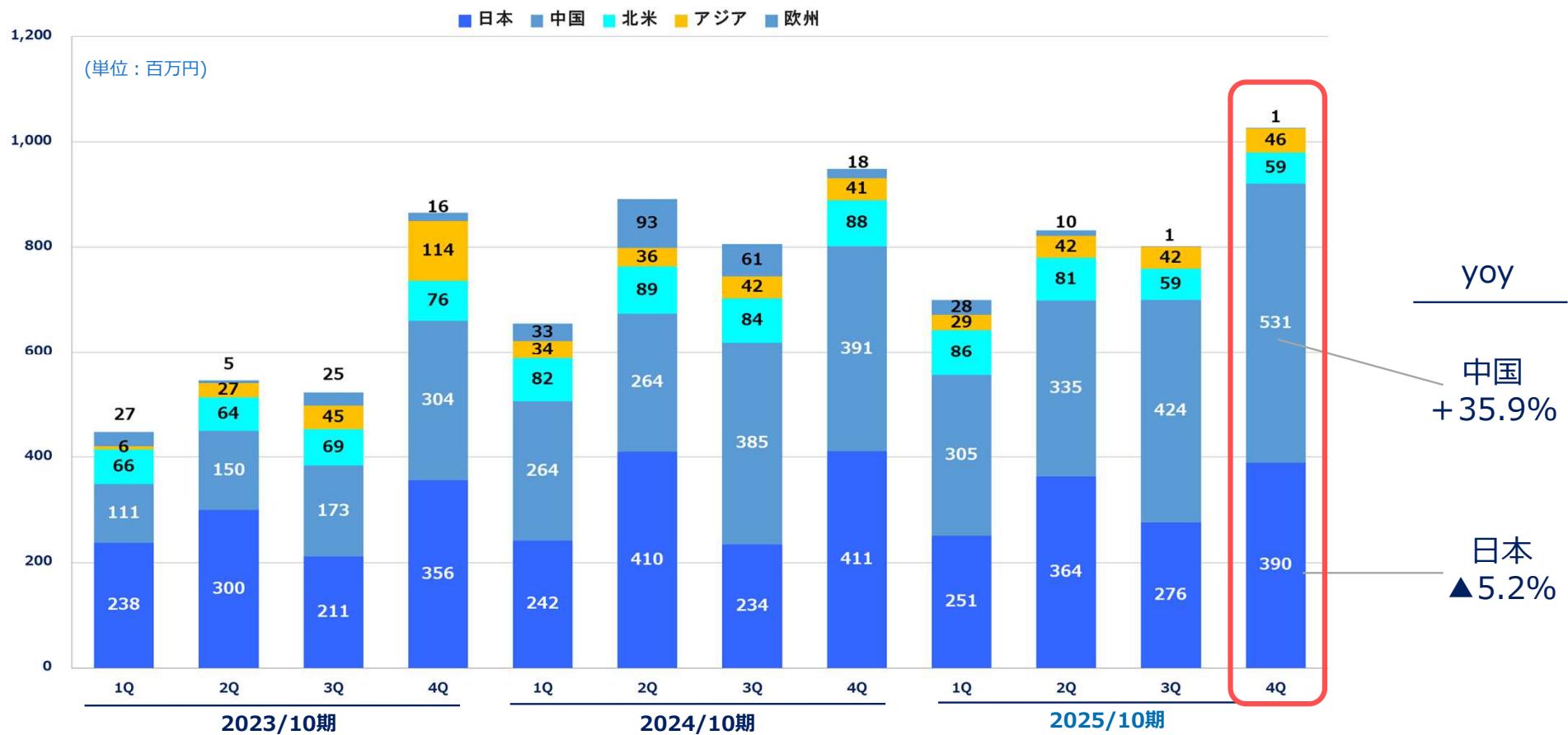
- 開発収入 : 前四半期の案件スリップにより前年同四半期比で +13.5%
- ロイヤリティ収入 : 引き続き中国におけるスマートデバイス向けが牽引しているが、前期獲得したスポット案件の減少に伴い前年同四半期比で ▲6.8%



## 売上収益構成 - 地域別 - (四半期推移)



- 日本：国内子会社の減収に伴い前年同四半期比▲5.2%
- 中国：スマートデバイス向けのロイヤリティ収入が好調に推移し前年同四半期比+35.9%
- 欧州：スポット案件の減少で前年同四半期比▲95.9%



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠

### 3. 2025年10月期 トピックス

## ■資本金及び資本準備金の額の減少並びに剩余金の処分（無償減資）



- ・繰越利益剰余金の欠損を補填し、財務体質の健全化を図り効率的な経営を図る
- ・資本政策の機動性や柔軟性を確保

単位：百万円

	減資前（実績）	減資後（見込）
資本金	1,858	100
資本準備金	1,807	0
資本剰余金	11	3,213
繰越利益剰余金	▲364	0

※株主総会承認後、減資効力発生時の見込み

## ■グループ再編



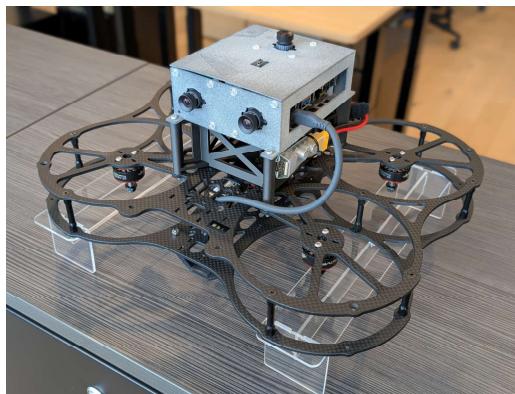
- ・DX領域におけるグループ再編を2段階実施。本再編はグループ内に分散していたDX関連機能、人材、技術リソースを統合・集約を行い戦略的事業領域であるDX領域への深耕を加速

対象会社	実施時期	実施内容
第1段階 Top Data Science	2025年3月	収益性向上のため子会社から持分法適用会社に変更
第2段階 モルフォAIソリューションズ	2026年4月 (予定)	吸収合併を行いリソースを統合

## ■軽量・低コストで実現する3D空間撮像の開発



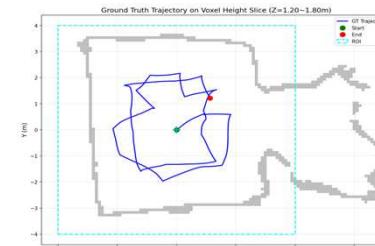
- LiDAR を搭載しない軽量・安価なドローンによる効率的な自律式空間撮像システム
- Visual SLAM 技術と自動経路探索技術によって画像を自律的に収集
- 収集した画像を Morpho Photogrammetry Toolkit に入力することで空間の高精細 3D モデルを復元
- 建設 DX、建設現場のデジタルツイン化のための要素技術



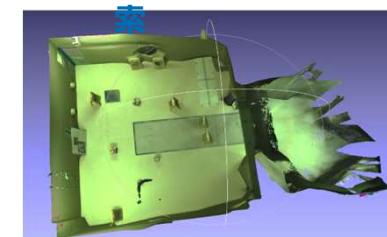
空間撮像ユニットを搭載  
したドローン初号機



自律飛行実験の様子



自動経路探  
索



高精細3Dモデル

## 4. 2026年10月期 通期連結業績予想

## 2026年10月期 通期連結業績予想



### 売上高は堅調に推移し収益性は改善

- 中国ではスマートフォンが好調に推移し新たにスマートグラス向けのロイヤリティ収入が 拡大見込
- 国内は自動車向けのAD/ADASを中心とした開発に加え、鉄道・航空・船舶領域の開拓を進める
- 非連続成長のプロダクトアウト製品を市場へ早期導入

(単位：百万円)	2025/10期 通期連結業績	2026/10期 通期連結業績予想	増減
連結売上高	3,359	3,500	140
連結営業利益	45	100	54
連結経常利益	71	150	78
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲77	70	147

## 5. Appendix

## 四半期別研究開発費推移



単位：百万円

■研究開発費    ●売上高研究開発費率（右軸）



## 四半期別売上収益構成 (数値)



(単位:百万円)

	2023/10期				2024/10期				2025/10期				前年同期比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
ロイヤ リティ 収入	190	248	302	505	384	416	526	559	429	464	508	521	▲6.8%
開発 収入	223	270	199	333	260	458	274	370	261	347	231	420	13.5%
その他 収入	34	27	20	27	9	11	10	17	8	19	62	83	379.8%

## 四半期別売上収益構成 - 地域別 -



(単位：百万円)

	2023/10期				2024/10期				2025/10期				前年同期比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
日本	238	300	211	356	242	410	234	411	251	364	276	390	▲5.2%
中国	111	150	173	304	264	264	385	391	305	335	424	531	35.9%
北米	66	64	69	76	82	89	84	88	86	81	59	59	▲32.2%
アジア	6	27	45	114	34	36	42	41	29	42	42	46	11.6%
欧州	27	5	25	16	33	93	61	18	28	10	1	1	▲95.9%

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点  
で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。  
当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化に  
による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる  
場合がございます。



お問い合わせ先  
コーポレート戦略部 IR担当  
E-Mail : [m-info-ir@morphoinc.com](mailto:m-info-ir@morphoinc.com)